

## 26) 靈的エクササイズ 19. 2020年5月3日(日)

第一朗読 使徒言行録2:14a. 36-41

第二朗読 第一ペトロ2:20b-25

福音 ヨハネ10:1-10

父と子と聖霊の御名によって、アーメン。イエス・キリストは賛美されますように。イエスの母、私たちの御母マリアは賛美されますように！

兄弟姉妹の皆さん、この絵を見てください。この日曜日、私たちは「良き羊飼のイエス」を祝います。この絵のどこがあなた方を引きつけ、あなた方に何を語るのでしょうか？  
まず、色かも知れません。私もです。私はは青、赤、黄色がとても好きですから。しかし、色よりも、イエスの表情、眼差しが私をととても引きつけます。優しさと同時に強さがうかがえます。イエスは、「強く、繊細な優しさ」あるいは、「繊細な強さ」の光を放っているかのようです。

兄弟姉妹の皆さん、皆さんの中に誰かこの羊がいる所に居たいと思わない人はいるでしょうか？ この羊のようにイエスの肩に担がれていたいと思わない人はいるでしょうか？ イエスのそばでイエスの暖かさを感じたいと思わない人はいるでしょうか？

イエスは、御頭（みかしら）を羊の方に傾けられています。イエスは彼の愛を示し、そばに居ることを教えています。

群れを離れてしまったこの羊に対して、イエスは怒りを示されません。ようやく、イエスの羊を見つけることができ、イエスは心から喜ばれているのです。詩篇23章の次の句が思い出されます。「あなたの杖、あなたの牧杖（ぼくじょう）こそ、わたしを安心させる。」

この絵は描かれたばかりですが、初めてこの絵を見た時、私は、「イエスの杖はイエスの導きだ。そして、イエスの後ろにある十字架が私の保護となる」と思いました。

イエスは十字架によって私たちを贖ってくださいました。十字架は罪と私たちの間にあります。十字架は私たちに影を落として保護してくださいます。イエスは私たちのすべての怪我、傷を担ってくださいました。この杖で、聖霊の杖で、私たちに擁護してくださいます。イエスは私たちのすぐそばにおられます。私たちはイエスの中に憩い、安全を感じることができます。この場所を獲得したいと思わない人がいるでしょうか？

イエスはまだ私たちを探し求めていらっしゃいます。決してあきらめることはありません。

しかし、私は思ったのですが、もしかするとイエスはすぐそばにおられるのに、イエスに見つけられたくなくて、「メェ」と鳴いていない羊がいるかも知れません。なぜなら、まだ恐れがあるから。自分が不従順であったこと、逃げ去ったことがあったから。あるいは、自分を恥じているから。自分にはその価値がないと思うから。その場所は私ではな

く、他の人のための場所だから、と考えるから、、などなどの理由でイエスに自分がそばにいることを示すのをためらっているのです。

いいえ、イエスはあなたを待たれています。一步踏み出してみてください。イエスに「私はここです」と小さなサインを出してください。「イエス、助けてください」「イエス、来てくださってありがとうございます。私をここから引き上げてください」と言ってください。

「主、イエス。あなたの御手、御足、それ以上に御心が傷ついていることを知っています。でも、あなたが私をあなたの肩に担ぎ、御父のふところに連れて行ってくださることを望みます。そうすればあなたは喜んでくださいますから。イエス、あなたが私の良き羊飼であられることを感謝します。あなたの肩、あなたの御心、あなたの御頭に保護されていること、そこに隠れることができることに感謝します。あなたがそばにいてくださることに感謝します。」アーメン